

01

重要性の理解

- 国際社会が抱える喫緊の課題
- GHG排出削減の重要性の高まり
- 社会からのプレッシャーが拡大

脱炭素経営の重要性等をテーマとした、
セミナーや社内勉強会の実施。
個人の脱炭素に向けた行動変容の促進。

02

現状把握

- 2050年CO2排出実質ゼロの目標設定
- 目標との距離感を把握し、具体的な活動計画を立てることができない

CO2排出量の算定システムの提案。
CO2削減目標に関する、
SBT認定の申請支援。

03

対策

- 現状の改善の積み重ねだけでは、目標の達成は難しい
- 中長期での抜本的な削減のための対策が必要不可欠

CO2排出量の削減ソリューションの提案。
資源生産性と炭素生産性の実現を目指す、
サーキュラーエコノミーの構築支援。

見える化プロジェクト：【リーダー企業】ディエスジャパン

CO2可視化や削減ソリューション保有企業による活動

サーキュラーデザインプロジェクト：【リーダー企業】レックスホールディングス

EXPOグリーンチャレンジアプリ

個人や社員の脱炭素に向けた行動変容を促す活動

OZCaF CO2見える化プロジェクト

一社では実現が難しいことも、チームなら実現できる。

実現に向け、技術と知見とアイデアが集結する産学官が参加するチーム作りを推進しています。

 **ディエスジャパン**

※プロジェクトリーダー

 **DAIKIN**

 **ELIY Power**

 **INABA**
因幡電機産業株式会社


KONICA MINOLTA

FUJITEX

 **Kenbunsya**


UPDATER, INC.


Together to the next level


Synesgy
The sustainability network.

 **ミツウロコヴェッセル**


TOKIO MARINE
NICHIDO
東京海上日動

 社会課題解決の推進パートナー
EMIELD

 **東武トップツアーズ**


FC
OSAKA
FOOTBALL CLUB


Backcasting Technology

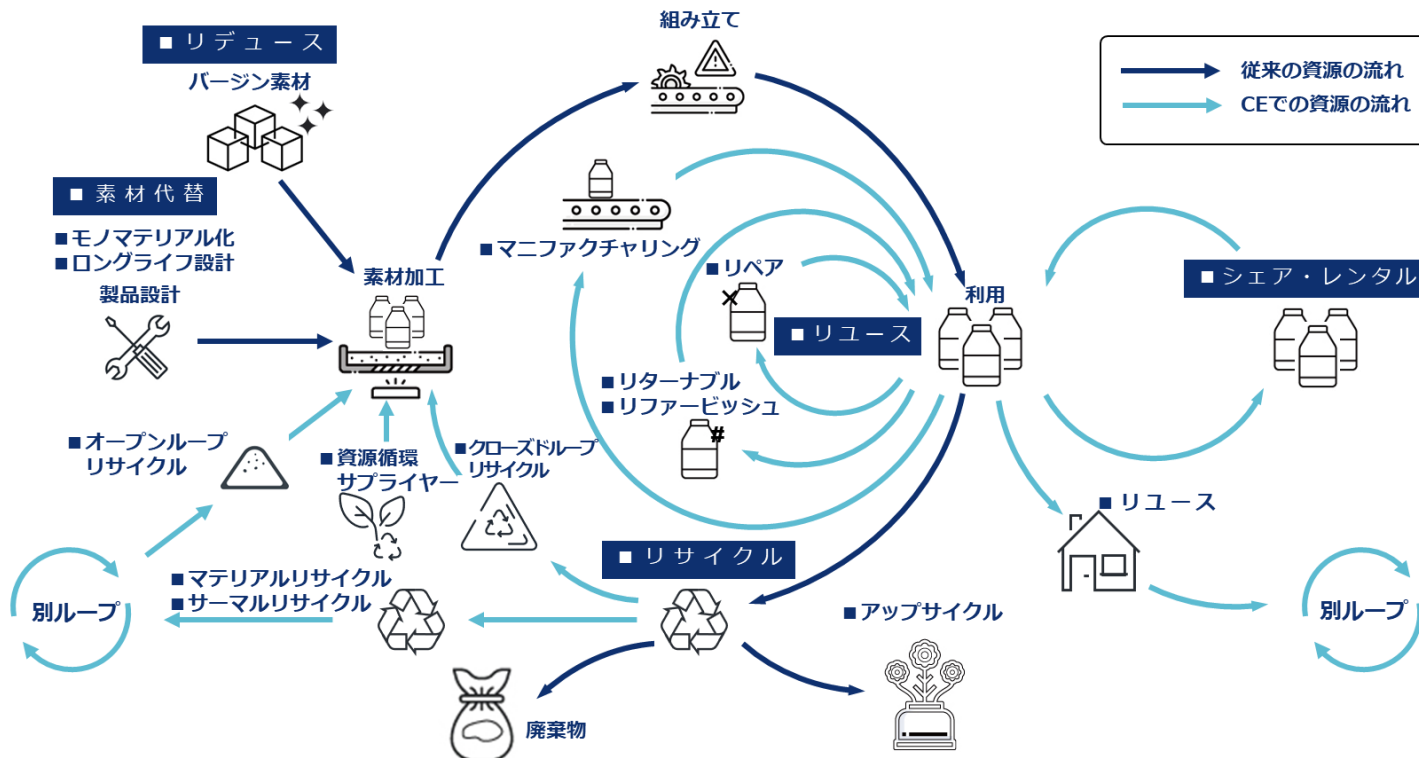
2025年6月時点

CO2削減目標に向けた、ソリューションマッチングを推進しております。

資源生産性と炭素生産性の実現を目指して

一次・二次エネルギーの使用量の削減や輸送過程での脱炭素化・エネルギー効率化などに加え、これからは、素材自体の脱炭素化やリサイクルの推進にまで踏み込む形で、サプライチェーン全体での環境負荷の低減をより一層徹底して進めていくことを目指します

サーキュラーエコノミーのイメージ図



「モノをひたすら使い続ける」だけではなくサプライチェーンの環境負荷を、カーボンニュートラル時代のKPIに沿って減らす

新たな資源循環サイクルの構築と、利用者の認知向上による、マーケットの構築が必要

新たな資源循環サイクルを構築するには、企業同士のプラットフォーム構築が必要

●大阪・関西万博 公式アプリ「EXPOグリーンチャレンジアプリ」

“大阪・関西万博の開催きっかけ”に企業や学校、自治体などの団体を通じて、個人の方々へ脱炭素行動を広げていく取り組みとして「EXPOグリーンチャレンジアプリ」を実施しています。
個人におけるサステナブルな行動変容を促進し、日常の行動にちょっとした脱炭素をプラスさせることを目的としたアプリです。



ちょっとした脱炭素行動をポイントに変える

チャレンジメニュー



詳細はこちら

